

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成28年11月4日(2016.11.4)

【公表番号】特表2015-531348(P2015-531348A)

【公表日】平成27年11月2日(2015.11.2)

【年通号数】公開・登録公報2015-067

【出願番号】特願2015-531567(P2015-531567)

【国際特許分類】

C 07 K	7/08	(2006.01)
G 01 N	33/53	(2006.01)
C 07 K	7/06	(2006.01)
C 07 K	19/00	(2006.01)
A 61 K	38/00	(2006.01)
A 61 P	25/28	(2006.01)
A 61 K	47/48	(2006.01)
A 61 K	47/42	(2006.01)
A 61 K	47/22	(2006.01)
A 61 K	47/34	(2006.01)
A 61 K	47/36	(2006.01)
C 12 N	15/01	(2006.01)

【F I】

C 07 K	7/08	
G 01 N	33/53	D
C 07 K	7/06	
C 07 K	19/00	
A 61 K	37/02	
A 61 P	25/28	
A 61 K	47/48	
A 61 K	47/42	
A 61 K	47/22	
A 61 K	47/34	
A 61 K	47/36	
C 12 N	15/00	Z N A X

【手続補正書】

【提出日】平成28年9月12日(2016.9.12)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

配列番号1、配列番号2、配列番号3、配列番号4、配列番号5、配列番号6、配列番号7、配列番号8、配列番号9及び/又は配列番号10、並びにそのホモログ、断片及び部分と、配列番号1、配列番号2、配列番号3、配列番号4、配列番号5、配列番号6、配列番号7、配列番号8、配列番号9及び/又は配列番号10、並びにそのホモログのポリマーとからなる群から選択される、D-エナンチオマーのアミノ酸を少なくとも50%含む少なくとも1のアミノ酸配列を含むペプチド。

**【請求項 2】**

更なる物質と連結されていることを特徴とする請求項 1 記載のペプチド。

**【請求項 3】**

医薬品における使用のための請求項 1 又は 2 記載のペプチド。

**【請求項 4】**

アルツハイマー病の治療のための請求項 1 から 3 のいずれか 1 項記載のペプチド。

**【請求項 5】**

実質的に D - アミノ酸からなることを特徴とする請求項 1 から 4 のいずれか 1 項記載のペプチド。

**【請求項 6】**

アミロイド ペプチドのフィブリル形成の阻害のための請求項 1 から 5 のいずれか 1 項記載のペプチド。

**【請求項 7】**

凝集したアミロイド ペプチドへの結合のための請求項 1 から 6 のいずれか 1 項記載のペプチド。

**【請求項 8】**

ペプチドを、ペプチド合成又は突然変異生成により製造することを特徴とする請求項 1 から 7 のいずれか 1 項記載のペプチドの製造方法。

**【請求項 9】**

請求項 1 から 7 のいずれか 1 項記載のペプチドを含むキット。

**【請求項 10】**

請求項 1 から 7 のいずれか 1 項記載のペプチドを含む組成物。

**【請求項 11】**

請求項 1 から 7 のいずれか 1 項記載のペプチドからなる、アミロイド フィブリル及び / 又はアミロイド オリゴマーの同定、定量測定及び / 又は定性測定のためのプローブ。

**【請求項 12】**

請求項 1 から 7 のいずれか 1 項記載のペプチドを含む、アミロイド オリゴマー及び / 又はアミロイド ペプチド凝集体を妨げるための組成物。

**【請求項 13】**

請求項 1 から 7 のいずれか 1 項記載のペプチドを含む、毒性アミロイド オリゴマー及び / 又は凝集体の解毒化のための組成物。

**【請求項 14】**

アミロイド オリゴマー及び / 又は凝集体が、請求項 1 から 7 のいずれか 1 項記載のペプチドと無定形の非毒性凝集体を形成することを特徴とする請求項 13 記載の組成物。

**【請求項 15】**

請求項 1 から 7 のいずれか 1 項記載のペプチドを含む、アルツハイマー病の治療又は予防薬。